

## 2. 【組織見直しに係る総合センターのあり方について】

大東町会場

Q20：うんなんブランド化について全国発信しておられる事業の展開は、市民として誇らしいと思う。その反面、総合センターの縮小化などが市民にとって生活しやすくなるのか。雲南市に住んで良かったということになるのか、平成22年度は、財政が収支均衡になったが、選挙の投票所も各地区1か所にされ、意思表示の機会を財政の問題で縮小された。考えて提案して欲しい。

A：総合センターの縮小は、行政の効率的な執行を目指していくものである。全体的に職員を削減して行かねばならない。人口・面積が類似している18団体を抽出した比較では75名程度多い。一気に減らすことはできないので平成32年へ向けての計画となる。本庁だけでこの人数を減らせるのか、総合センター含めた中で考えて行かねばならないのか。一方では業務を減らす、委託することも必要。合併以後平成17年4月から88名減らしている。減らしているのは、総合センター・給食センター・保育園・学校関係。本庁は逆に15名程度増えている。何故かというとなんだ政策課題は、本庁で対応せざるを得ないからで、総合センターで住民生活に直結した問題を現地解決型でやっているが、職員を減らすとなると本庁に集めて業務の効率化を図ってやらざるを得ない。しかし不便をおかけするので、福祉の一次的窓口や証明の発行等最低限のものは総合センターに残すこととしている。庁舎建設の参考とした3市は人口規模と合併後庁舎を建てたという部分で参考にし、これをベースに計画案を策定した。(総務部長)

Q21：新庁舎に人を集約していくとのことだが、効率化は大切だが、総合センターを縮小して本庁に人を集めて指令を出すことが、市民にとって雲南市に住んで良かったということになるのか。効率化とお金のことが大前提だが、人を大切にすることを考えて運営してほしい。協働のまちづくりも具体的な提案をしてほしい。

A：何故合併しないといけなかったのか振り返った時、このまま単独ではかつての夕張市のようなになる。これを避けるために合併して同じ事務などは1か所で行い、合併効果を出して財政を立て直すことが大きな理由だった。合併した後、庁舎は建てないといけなくなったが、場所については市になって4年位して決まった。新庁舎建設について、建設後の総合センターのあり方についてずっと検討して今に至っている。

新庁舎の建設をどうするか検討委員会を立ち上げて具体的な建設計画を練っている。しかし、新庁舎を建設することや、その場所も決定しているので市民に説明する必要がないという訳ではなく、建設の経緯や必要性などを説明する中で、共通理解を深めることに市政懇談会の意義があった。

人を大切に市民と行政の協働のまちづくりを進める上での新庁舎建設であり、総合センターから人を少なくして行財政改革ができたが、住民サービスは合併前の方が良かったということでは何のために合併したかわからない。住民サービスを低下させない方策を様々な角度から考え、新庁舎建設、総合センターのあり方を模索している最中であることを共通認識としていただきご意見を伺いたい。(市長)